

よみがえる街・豊橋

～戦災からの復興と豊橋博～

昭和20年6月19日の深夜にあった豊橋空襲では、市街地のほとんどが焼失しました。しかし、戦後になって豊橋は戦災復興計画に従って、新たな街づくりを行いました。本展では、昨年開催した失われた街・豊橋の続編で、空襲で焼失した街の復興を写真パネルで復元し、紹介しました。

●期間

平成26年8月30日(土)～9月28日(日)

●会場

中央図書館 2階 展示コーナー



戦災復興区画整理事業で付け替えられた市電軌道敷（大手町）

期間中は2,153人の方にお越しいただきました。アンケートでは、「なつかしい」という当時を知る方のお声や、若い方の「当時の人々の復興に対する前向きなエネルギーを感じた」という感想もいただきました。

みなさんそれぞれの思いを持って、当時の豊橋の息づかいを感じている様子でした。



会場では、写真パネルのほか、昭和29年に開催された復興のシンボルとなった豊橋産業大博覧会（豊橋博）についての本を紹介しました。

配布資料として、豊橋博の会場案内図を作成しました。

回想法事業講座 「戦前の豊橋と戦災復興」

日時：平成26年9月3日(水) 14:00～15:30

会場：第2・3会議室 講師：当館職員

対象：60歳以上の方

31の方々にご参加されました。戦前・戦後の豊橋の写真を見ながら、クイズに答えたり、お持ちのエピソードを話していただきました。

最後には、講座で思い巡らしたことを回想カードに記入していただき、一部は、展示コーナーで掲示しました。

